サービス改善計画書

策定日：令和５年１月３１日
事業・サービス名：保育所サービス
施設・事業所名：大津市立朝日が丘保育園

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考（必要な予算等）
Ⅱ-2ー（1） ②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	・園長が不在の場合の有事（災害、事故等）に対しての役割や責任は理解しているが、代表保育士も不在の場合などの確認が明確にできていない。	・園長不在時の役割の明確化を行い、会議や学習会を開き、一人一人の役割の認識を高める。	令和5年度中	園長 代表保育士	特になし
Ⅱ－３－（1） ①職員の就業状況や意向を反映し働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	・できるだけ時間内に事務や環境準備をしようと努力はしているが、日々の保育の大変さや業務の多さで超過勤務が多くなっている。	・業務や行事の見直しをしたり、昼の会議の回数を減らし事務やクラス内での情報の共有などができるようにし、なるべく時間内で仕事をしていくようにする。	令和5年度中	園長 代表保育士	特になし
Ⅲ-4-（1） ③災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 Ⅴ-1-（2） ②災害発生時には、福祉避難所として、地域住民の福祉のために貢献する体制を構築している	b	・避難訓練を毎月行っているが、地域の関係機関との連携を取りながらの訓練ができていない。災害時には子どもたちの誘導などを手伝ってもらえるような体制が取り切れていない。 ・福祉避難場所になっていることなどは周知しているが、避難場所になったことを想定しての訓練ができていない。実際にどこを使うのかなど具体的な動きを考えられていない。	・年度が替わった時点で自治会や福祉団体等と連携を取り、避難時の子どもの誘導協力を依頼し、ともに訓練をする内容の計画を立てて実施する。 ・福祉避難場所になった時のことを想定した環境や動きを、職員間で確認し、明確化する。また、断水、停電などのシュミレーションを行い、具体的にイメージできるようにする。	令和5年度中	園長 代表保育士	特になし
Ⅲ－３－（２） ③苦情解決の仕組みが確立しており、十分に周知・機能している。	b	・苦情解決の仕組みは確立しており、対応もしているが、苦情を受けた後の保護者への公表が十分にできていない。	・苦情を受けた際、内容によって、全体の保護者に公表するようなボードなどを作り、その都度知らせるようにする。	令和5年度中	園長 代表保育士	特になし